

いわき農林水産ニュース

平成30年5月号（第159号） 発行 5月31日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



6/9（土）全国林業後継者大会と
同時開催の「いわきトマト Fes!!」に
是非お越しください！

詳しくは p.9・10

目次

- ・【特集】食農教育……………p.1
- 〔各種取組の実績（4～5月）〕……………p.3～
- 〔お知らせ・連載記事〕
- ・頑張るいわきの農業関係者リレーインタビュー…p.6
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果…p.7
- ・観光わらび園再開！……………p.8
- ・いわきハタチ酒プロジェクト……………p.8
- ・イベント情報……………p.9
- ・GAP コーナー……………p.11
- ・6次化商品紹介……………p.11
- ・いわき農林事務所新規採用職員からひとこと…p.12

【特集】食農教育

“マコモダケ”を育ててみよう！

菊田小学校5年生児童78名による「田んぼの学校」開校！

○田んぼの学校って？

地域の未来を担う子どもたちが、「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」について理解を深め、豊かな感性と深い見識を持つことを目指し、田んぼを遊びと学びの場として活用して実施する体験型学習です。

平成30年度、いわき市立菊田小学校の「田んぼの学校」では、5年生児童78名が先生や地域の方々の協力の下、マコモダケの栽培を通して、様々な農業活動を行っていきます。



(5/14 苗植えの様子)

○そもそも“マコモダケ”ってなに？



(大人の背丈ほどになります)

・どんな作物？

田んぼで栽培できるイネ科の植物「マコモ」の株元が「黒穂菌^{くろほきん}」の影響で肥大化してできるのが、「マコモダケ」です。中国や東南アジア諸国に多く分布し、古くから食用や薬用として親しまれてきました。日本でも、休耕田の転作作物として全国各地で栽培されています。成長すると大人の背丈ほどとなり、2メートル近くになるものもあります。

マコモダケの可食部



・どんな味？

タケノコやアスパラに似た食感とほのかな甘みが特長で、穂先は生で食べることもできます。クセがないのでアレンジしやすく、煮たり、炒めたり、揚げたりと様々な調理方法で美味しく食べられます。

○これまでの活動

・第1回 開校式

4月23日（月）、「田んぼの学校」開校式を行いました。菊田小学校の松本光司校長による開校宣言の後、田んぼの学校校長に就任されました井上用水堰土地改良区理事長の秋山邦夫さんをはじめ、田んぼの学校応援団の方々から挨拶をいただきました。その後、田んぼの測量を行い、今後一年間マコモダケを育てる田んぼがどのぐらいの大きさがあるのかを学びました。



(田んぼの大きさはどのくらい?)



(マコモダケの説明)

・第2回 マコモダケの苗植え

5月14日（月）、マコモダケの苗植えに挑戦しました。児童達は、地元農家の方から植え方の説明を受け、苗植えに取り組みました。素足で田んぼに入るといった初めての体験で、「怖い」「気持ち悪い」と恐る恐る苗植えを行っていましたが、最後には「楽しい」「また苗植えをやりたい!」といった感想もあり、皆さん楽しく苗植えを学ぶことができました。



(上手に苗植えできるかな?)



(苗植えにも慣れてきました!)



平成29年度稲刈りの様子

昨年度は、市立草野小学校と県立聴覚支援学校平校の生徒たちが、もち米の田植えや稲刈りを行いました。今年度は菊田小学校の生徒たちが「マコモダケ」に挑戦です!

⇒年間スケジュールについては次のページへ

○今後のスケジュール

第1回	4月23日(月)	開校式・田んぼの測量	実施済み
第2回	5月14日(月)	マコモダケの苗植え	実施済み
第3回	6月20日(水)	田んぼの生きもの調査	次回予定
第4回	7月中旬	マコモダケの生育状況の確認	今後予定
第5回	10月上旬	マコモダケの収穫	//
第6回	10月上旬	マコモダケの実食体験	//
第7回	10月上旬	収穫祭(ハザーでマコモダケの配付)	//
第8回	11月下旬	学びの収穫祭(県内各校での取組発表会)	//

○次回は、田んぼの生きもの調査を行います。

マコモダケを植えた学習田の周りの水路等で生きものを採取し、生きものの種類や大きさを調べ、生態系について学びます。(農村整備部)

菊田小学校「田んぼの学校」の様子は、随時当ニュースでご紹介してまいります。

次回の更新をお楽しみに！

鉢物生産者が直売活動を実施！

〔4月15日(日)〕

いわき花き鉢物研究会が、いわき市の鹿島ショッピングセンター「エブリア」敷地内で開催された「第9回かしまふれ愛さくら祭り」で、鉢物の直売を行いました。

このイベントでの出店は平成27年度に始まり、今回で3回目の出店となりました。出店の目的は、消費者の声を直接聞きながらの販売活動により、地場産鉢物類のPRに加え、自身の生産する商品への評価や需要動向を調査することです。

当日は、アツツ桜、アルストロメリア、ペチュニア、アマリス、宿根かすみ草、カーネーションなど、15種類の色とりどりの鉢物が陳列され、雨上がりの会場を彩りました。販売は10時頃に開始され、終了となる15時にはおよそ8割が売れていました。

一日を通し、会員が来客者に対して「水やりは数日に1回で」「この花は湿気に弱くて」など品目毎の特徴をプロとして熱心に伝えながら販売に当たる姿が印象的でした。(農業振興普及部)



(説明の様子)

JA 福島さくらいわき地区梨部会栽培指導会開催 〔5月9日(水)・11日(金)〕

JA福島さくらいわき地区梨部会主催の栽培指導会が開催されました。5月9日には関場、野々志度、上野原地区の3か所、11日には上平窪、赤井、竹ノ内地区の3か所を会場に、合計で31名の参加者のもと開催されました。

いわき農林事務所農業振興普及部からは、栽培の注意点、防除暦の変更、刈り払い機の安全指導などについて説明しました。生産者からは、「生育が早まっていて作業が追いついていない。」「黒星病が心配だ」との声がありましたが、栽培指導会をとおして今後の作業が確認でき安心した様子でした。(農業振興普及部)

平成30年度いわき市営農推進会議開催

〔4月25日(水)〕

県いわき合同庁舎において、いわき市とJA福島さくらいわき地区本部、当所農業振興普及部による会議を開催しました。

会議では各機関、団体からそれぞれの今年度事業(活動)計画と推進体制等について説明されました。また、連携する取組として第三者認証GAPの推進、担い手や新規就農者の育成と支援、日本なしの輸出の取組支援、農作業安全推進等について情報共有しました。さらに、産地の維持と発展、生産意欲の向上から、新規就農者や定年帰農者等、新たな担い手の確保の重要性等について意見がありました。引き続き、各関係機関と団体が一体となり、いわき地域の農業振興に向けて取り組んでまいります。(農業振興普及部)



(会議の様子)

「緑の募金」街頭募金

〔4月21日(土)〕

いわき市緑化推進委員会主催の「緑の募金」街頭募金が、いわき・ら・ら・ミュウ及びアクアマリンパークにおいて行われました。

毎年、4月1日から5月31日までの「緑の募金運動推進期間」の一環として開催されており、今回は、いわき市立綴つづら小学校綴秋山みどりの少年団、サンシャインガイドいわき、磐城森林管理署、いわき市森林組合、県造園建設業協会いわき支部、いわき農林事務所が参加しました。

当日は、綴秋山みどりの少年団7名をはじめとした参加者が、観光客など多くの方に募金の呼びかけを行いました。募金にご協力いただいた方には感謝の言葉とともに緑の羽根や花の苗などを手渡しました。

期間中に集められた緑の募金は、緑豊かな潤いのある美しいふくしまのため、緑化の推進、次代を担う青少年の育成、森林ボランティア活動の支援などに活用されますので、引き続き「緑の募金」にご協力いただきますようお願いします。(森林林業部)



募金を呼びかける
綴秋山みどりの少年団

福島県緑の少年団について

森林での学習活動や地域の奉仕活動、レクリエーション活動を通じて緑を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間性を養うことを目的に組織された団体です。

本県では、昭和49年度から小学校を中心に学校単位で結成されており、いわき市内では以下の5校の緑の少年団が活動しています。



夕見が丘小学校緑の少年団	いわき市立平第三小学校緑の少年団	綴秋山みどりの少年団
いわき市立泉小学校緑の少年団	藤原小学校緑の少年団	

ウニ・アワビの初漁

〔5月1日(火)〕

いわき地区で、今漁期のウニとアワビの試験操業が開始されました。アワビは、久之浜、四倉等 9 地区の採鮑組合が操業し、約 99kg 水揚げされ、ウニは、薄磯地区の採鮑組合が操業し、約 30kg 水揚げされました。ウニは水揚げ後、小名浜下神白にあるいわき市漁協の加工施設において、ウニの貝焼きの加工作業が行われ、66 個の貝焼きが仕上がりました。

アワビの入札は昨年と同様に小名浜魚市場で、ウニの貝焼きの入札は、沼之内市場で行われました。なお、アワビとウニの貝焼きは同日に小名浜魚市場で放射性物質の検査を受け、いずれも検出下限値未満となりました。

ウニとアワビの試験操業は、ウニが 7 月末頃まで週 1～3 回程度操業し、アワビが 9 月末まで週 1 回程度操業する予定となっています。(水産事務所)



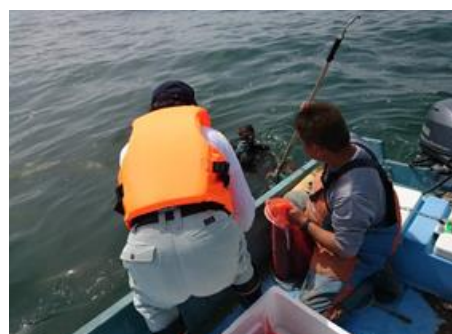
沼之内市場における
ウニの貝焼きの入札風景

アワビ稚貝の放流

〔5月14日(月)・16日(水)〕

いわき海域の 11 地区においてアワビ稚貝(殻長約 2～3cm) 約 5 万個が放流されました。放流されたアワビ稚貝は、東日本大震災で大熊町にあったアワビ生産施設が全壊したため、県栽培漁業協会が静岡県伊豆にある国立研究開発法人水産研究・教育機構の施設で育成されました。なお、5 月 15 日には、相馬海域の 5 地区において、アワビ稚貝約 7 千個が放流されました。

現在、県では、相馬中核工業団地(新地町、相馬市)において、10 月の供用開始を目指して種苗生産・研究施設の整備を進めており、完成後には、県内でのアワビ稚貝の生産が可能となります。(水産事務所)



(アワビ稚貝放流について)

トピック1

いわき農林事務所発注の治山工事、 優良森林土木工事として受賞!

5月24日(木)、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会より「平成30年度表彰」が発表され、当所発注の治山工事が優良森林土木工事に選ばれました。表彰式は、6月14日(木)に行われる予定です。

受賞団体	事業者	株式会社地質基礎
	工事名	予防治山 2801 工事
	地区名	和具地区
	工事概要	山腹工 0.36ha
	事業費	32,284,440 円



頑張るいわきの農業関係者リレーインタビュー！Vol.5

地元密着の若手農業者。地域活性化に向けて本日も奮闘中！

遠野町 折笠明憲さん

前回取材にご協力いただいた草野グリーンファームの草野さんから紹介のあった、遠野町の水稲・野菜農家、折笠明憲さんへインタビューに伺いました！

地元が一番！遠野町の中心的な若手農業者

明憲さん：私は、地元遠野町上根本で就農してから11年間、稲作と野菜の生産に取り組んでいます。コシヒカリや天のつぶ等の主食用米をはじめ、飼料用米や業務用米を10ha作付けし、受託農地の10haと合わせて約20haの農地で稲作をしています。今の時期（5月中旬取材）は田植え真っ盛りで、家族や親戚、市内に住む同級生にも手伝ってもらいながら、汗を流して取り組んでいます。野菜は、ナス、秋冬ネギ、春菊等を栽培しています。



インタビューにご協力いただいた折笠明憲さん（33）

一生働き続けられる農業を選択

明憲さん：10代の頃から、将来は一生働き続けられる仕事に就きたいと考えていました。21歳の時、農家である我が家を存続させるためにも農業を継ごうと決断し、見よう見まねで手伝い始めまし



すくすくと育った苗に水をやります

た。子どもの頃から手伝ってきたものの、専門的な知識はほとんどなく、

このままではだめだと思い県外の農業専門学校に進学しました。実践を通して1年間猛勉強した後、いわきに戻ってすぐに就農し、専門学校での学びを活かしました。専門学校で共に励んだ同級生たちは、活動地域こそ全国バラバラではあるものの、今でも情報交換や近況報告をし合える良い農業仲間です。

県農業協同組合青年連盟幹事長、いわき農業青年クラブ連絡協議会会長を務める「青年農業者」。青年クラブでは、先進地研修や食育教室等の活動にも積極的に参加されています。

地元で農家を続けること

明憲さん：私が地元こだわるのは、農業を通して地域活性化につなげたいという思いからです。遠野町上根本は中山間地域とも言われるところですが、例えば地域の方が集まってお茶を飲みながら野菜の袋詰めをしたり、地域雇用や交流の場に少しでも結びつけばと考えています。3月には第一子が誕生した大切なこの地域で、規模拡大や新規作物の導入等にもチャレンジしながら、これからも農業を続けていきたい。また、農業は一つの職業であり、地域活性化の可能性も秘めた日本に欠かせない産業であることを、我が子をはじめ次世代に伝えていきたいと思います。

明憲さんが丹精込めて生産した野菜、是非ご賞味あれ！

販売店舗

- ファーマーズマーケットいがっぺ（いわき市後田町柳町 56）
- マルト SC 中岡店（いわき市中岡町 6-1-8）

販売品目

- ナス、レタス、トマト、きゅうり、大葉等

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（平成30年4月分）

□ 農林畜産物の検査結果

平成30年4月の農林畜産物モニタリングでは、検査した13品目29検体すべてにおいて放射性セシウムが基準値（100Bq/kg）を超えたものはありませんでした。

内訳は（表1）のとおりです。また出荷制限状況は（表2）のとおりです。

（企画部）

（表1）放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

アスパラガス（施設）1、タラノメ 3、キュウリ（施設）1、トマト（施設）1、ミニトマト（施設）1、菌床しいたけ（施設）3、わらび（栽培）5、ふき（野生）2、うど（野生）1、もみじがさ（しどけ）（野生）2、くさそてつ（ここみ）（野生）2、牛肉3、原乳 4
--

（表2）出荷制限および出荷自粛品目（4月末現在）

制限、自粛	区 分	品 目
出荷制限	山 菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ（野生のものに限る）、わらび（野生のものに限る*）、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ（摂取も制限）
出荷自粛	山 菜	さんしょう（野生のものに限る）
	果 物	クリ（該当生産者に限る）

*わらび（栽培）は、該当生産者6名のほ場に限り出荷制限解除されました。

□ 海産魚介類の検査結果

平成30年4月の水産物モニタリング検査では、630検体の魚介類を検査し、放射性セシウムの基準値（100Bq/kg）を超えたものはありませんでした。

放射性セシウムの検出限界値未満（以下、ND）の割合は、平成30年4月には99.0%となっています。現在の出荷制限等指示魚種は（表）の7種類になっています。

（水産事務所）

（表）海産魚介類に関する国の出荷制限等指示

ウミタナゴ	サクラマス	ムラソイ
カサゴ	ヌマガレイ	ピノスガイ
クロダイ	平成30年5月21日現在	

*キツネメバル、シロメバル、スズキは、平成30年4月24日に出荷制限解除となりました。

トピック2

「地域商社」って？ ～いわきユナイト株式会社～

最近、地方創生の流れを受けて「地域商社」が全国各地で設立されています。「地域商社」は、地域製品のマーケティングや販路開拓を行ったり、他地域との連携や観光等の異分野と連携を進めたりしながら、地域の魅力を発信し、地域産業の振興に貢献する役割を担っています。いわきでも平成29年7月に「地域商社」が活動を始めました。それが「いわきユナイト(株)」です。

「いわきのモノ創りを元気にする」をスローガンに掲げ、いわき市内の食品メーカーと連携しながら、6次化商品のプロデュース、ブランディング、販路開拓、流通まで手掛けています。

この出口戦略の一環として、4月11日から6月10日までの2ヵ月間、郡山のうすい百貨店で「いわきフードセレクション」を開催しています。この企画は、いわきを中心とした約15社の食品メーカーの商品を来場者にご紹介し、販売するもので、事業者自ら売場に立ってお客様の声を直接聞くことで今後の商品開発等に活かしてもらう場になっています。

4/11（水）～6/10（日）
是非お越しください！



「いわきフードセレクション」
うすい百貨店で開催中！

「観光わらび園」再開！

平成23年に発生した東京電力原子力発電所事故のあと閉園していたいわき市の観光わらび園が8年ぶりに再開しました。

再開したのは「上桶売牧野観光わらび園」（いわき市川前町）で、敷地面積はおよそ7haです。この観光わらび園は、地元の人たちが40年ほど前から経営を行っていましたが、原発事故の影響により、国の出荷制限指示があったことから営業を中止していました。

当所では、栽培管理や放射性物質低減対策に関する指導を行うとともに、組合員の人たちと、空間線量や土壌中の放射性セシウム濃度測定といった生産環境の確認作業を行ってきました。わらびの放射性物質検査については、施肥等の管理作業を進めるに従い、放射性セシウム濃度が徐々に低くなり、平成29年に実施した出荷制限解除のための検査では、放射性セシウム濃度が基準値以下であることが確認され、国との協議の結果、平成29年9月11日に解除*されました。

今年の4月に行った放射性物質検査でも国の基準値を大きく下回り、安全性が確認されたことから5月6日に観光わらび園を再開しています。
(森林林業部)

上桶売観光わらび園について

6月中旬まで毎週2回、大人1名あたり2,000円でわらび摘み放題を実施しています。旬の味覚のわらび摘みを是非楽しんでみませんか。

- 営業日・時間 6月中旬までの日曜日と水曜日（毎週2回） 午前8:00~10:00
- 場 所 いわき市川前町上桶売地区（入口は、いわきの里鬼ヶ城入口より200m先）
- お問い合わせ 上桶売牧野農業協同組合 0246-84-2955
いわきの里 鬼ヶ城 0246-84-2288

※ p.7にも記載のとおり、いわき市では「上桶売牧野観光わらび園」を含め生産者6名の栽培わらびに限り出荷制限が解除されています。

「いわきハタチ酒プロジェクト」始動！！

～二十歳の年の、米作りから酒造り体験～

いわき市内の酒販店10軒で構成されているいわきハタチ酒実行委員会は、20歳前後の若者が日本酒の原料となる水稲の栽培から実際に日本酒を仕込む作業を一貫して体験する「いわきハタチ酒プロジェクト」を始動させました。使用する酒米は、県オリジナル酒造好適米「夢の香」を使用し、5月27日（日）に東農園さんの御協力をいただき、平荒田目地内のほ場にて30a作付けしました。また9月には稲刈り作業、1月から2月にかけて市内の太平桜酒造さんで日本酒の仕込み作業と絞り作業を体験して、3月にお披露目する予定です。

実行委員会からは日本酒をとおして地域農業の振興や幅広い層への日本酒の消費拡大につながればという期待の声が聞かれました。
(農業振興普及部)

いわき農林事務所も、企画・実施に協力しています。
次号、5月27日（日）の田植えの様子をご紹介します！

ハタチ酒



(第1回実行委員会の様子)

イベント情報

第69回全国植樹祭

6月10日(日) 13:35～ 会場：南相馬市原町区雫地内の海岸防災林整備地

全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的行事として、昭和25年以来、毎年春に国土緑化推進機構と開催地都道府県との共催により開催されます。

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多数の参加者を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹が行われます。



全国植樹祭スケジュール

- プロローグ 13:35～14:20
福島県の紹介映像、プロローグアトラクション、感謝状贈呈、東日本大震災復興支援への感謝、植樹リレーゴールセレモニー、記念切手の贈呈
- 記念式典 14:20～15:10
天皇皇后両陛下下御到着、黙とう、開会のことば、三旗掲揚、国家斉唱、主催者挨拶、表彰、苗木の贈呈、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き、代表者記念植樹、メインアトラクション、大会宣言、リレーセレモニー、閉会のことば、天皇皇后両陛下下御退席
- エピローグ 15:10～15:40
サテライト会場との二元中継、緑の少年団メッセージ、エピローグアトラクション、グランドフィナーレ

県内サテライト会場・PR会場

各会場では、南相馬市の式典会場の様子を大型ビジョンカーで放映するとともに、ご当地グルメや木工体験コーナー、ステージイベントを行います。メイン会場の申込みを逃した方も、どなたでも参加できますので、是非お越しください！

- サテライト会場 10:00～16:00
・ふくしま県民の森 フォレストパークあだたら (大玉村)
記念の植樹活動にも参加できます。
- PR会場
・福島駅東口駅前広場 11:00～16:00
・郡山駅西口駅前広場 11:00～16:00
・白河駅前イベント広場 10:30～16:00
・会津総合運動公園 10:30～16:00

第47回全国林業後継者大会

6月9日(土) 13:30～ 会場：いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール



※参加者の募集は終了しました。

当大会は、「第69回全国植樹祭」の関連行事で、前日の6月9日にいわきアリオスで開催します。全国の林業後継者が一堂に会し、森林づくりへの先人の考えや担い手としての日ごろの取組について意見を交わし、豊かな森林を次世代に継承する思いを全国に発信することを目的としています。

大会会場前の平中央公園では、いわき産トマトの一大イベント「いわきトマト Fes!!」が同時開催されます。全国林業後継者大会に出席しない方も存分にお楽しみいただけるよう、盛りだくさんの内容となっておりますので、是非お越しください！

会場前の平中央公園では
楽しい企画が盛りだくさん！
大会へ参加されない方も十分に楽しめます。

⇒次のページへ

《 いわきアリオスでの全国林業後継者大会を応援します!! 》

～平中央公園における同時開催イベントのご紹介～

いわきトマト Fes!!

- 日 時 平成30年6月9日(土)
10:00~14:00
- 会 場 平中央公園
- 主 催 いわき市農業生産振興協議会、
JA 福島さくらいわき地区本部
- 共 催 JA ライフクリエイイト福島、ふくしまFM

全国林業後継者大会と同時開催で、トマトづくしのイベントが開催されます。

サンシャイントマト、親バカトマト、愛菜トマトの各種販売。生食トマトやトマト加工品を販売。

市内の有名店によるトマト料理やスイーツの販売。今年はパンマルシェも開催!

フラダンスショーやじゃんがら念仏踊り、シャカシャカドレッシング作り等のステージイベント。

トマト詰め選手権など、お子さんから大人まで楽しめる来場者参加型のチャレンジ企画。

＼トマトの^{もり}森林へようこそ!／

いわき
トマト
Fes!!

＼^{もり}トマトの森林へようこそ!／

6/9(土) 10:00・14:00

場所 平中央公園

主催 平中央公園
安田 祥子
アำนวยการ

会場案内Map

1 SUN×3
オールスターズエリア
サンシャイントマト、親バカトマト、愛菜と多くの有機販売。生食トマトやトマト加工品も販売。

2 トマトdeマルシェ
市内の有名店によるトマト料理やスイーツの販売。今年はパンマルシェも開催! さまざまなトマト加工品も販売。

3 ステージイベント
フラダンスショーやじゃんがら念仏踊り、シャカシャカドレッシング作り等のステージイベント。

4 チェレンジ企画
トマト詰め選手権など、来場者参加型のチャレンジ企画。お子さんからお大人まで楽しめる企画をご用意!

5 フォトコンテスト
このイベントを通して、トマトの魅力を伝えるために、撮影した写真をコンテストに出展し、最優秀賞を授けようという企画も開催!

「いわきトマトFes!!」事務局 ふくしまFM内 Tel.024-991-9000

主催 いわき市農業生産振興協議会 JA 福島さくらいわき地区本部 共催 JA ライフクリエイイト福島 ふくしまFM

第1回

「おいしい ふくしま いただきます!」
キャンペーン

全国林業後継者大会での

いわき6次化商品等PR

- 日 時：平成30年6月9日(土) 10:00~14:00
- 場 所：平中央公園(いわきトマトFes!! 会場内)
- 主 催：福島県いわき農林事務所

消費者に県産農林水産物の美味しさや安全性を再認識していただくため、消費拡大キャンペーンを実施します。

今年度第1回目の今回は、全国林業後継者大会・いわきトマトFes!!と同時開催です!

【イベント内容】

アンケートにご協力いただいた方にお米やご飯のお供をプレゼント!

(無くなり次第終了となります。お早めに!)

全国及び地元の来場者に「ふくしまのおいしさ」を味わっていただくため、いわき産農林水産物(6次化商品・特産物)のPRを行います。

【イベント内容】

- ① 地元6次化商品・特産品の販売用カタログを配布(後日FAX注文可能)
- ② アリオス内売店と協力しての試食
- ③ いわきの復興状況のパネル展示

GAP 補助事業、平成30年度も継続！

平成30年度も第三者認証GAP取得等促進事業が継続となりました。この事業により、第三者認証GAP取得に係る費用が補助されます。なお、30年度は、市町村が事業実施主体となる「GAP活用モデルの育成」のメニューが新規に追加されました。

当所は、今後とも第三者認証GAP取得推進と併せた補助事業の活用を推進してまいります。補助事業について不明な点や活用を希望する方は、農業振興普及部（24-6160）まで御連絡ください。

(表) 第三者認証 GAP 取得等促進事業の概要

第三者認証GAP	対象者	補助対象	補助率
JGAP、FGAP（ふくしま県GAP）等	農業者、 農業法人等	・研修会参加費用 ・検査分析費用 ・審査費用 ・備品（農薬保管庫等）購入 等	100%

第三者認証GAP取得に向けた相談会

- 日 時：平成30年6月6日（水）13：30～15：00
- 会 場：県いわき合同庁舎3階 いわき農林事務所農業振興普及部内
- 予約方法：6月4日（月）17時までに農業振興普及部（24-6161）へ御連絡ください。

当所では、今年度も農業者の皆様へ、第三者認証GAPの取得推進を図るため、上記のとおり相談会を開催いたします。第三者認証GAPについて詳細を知りたい方、実際に取組を希望する方、補助事業の活用を希望する方…等、GAPに関することについて御相談のある方は **どなたでも無料で参加できます**。少しでも御興味のある方は是非お越しください。

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」に掲載された 6次化商品をご紹介します！

「泉水耕農園 思いやりの丘 フクハウス」では、ハウスで栽培したミネラルたっぷりの発芽にんにく、甘くてみずみずしいイチゴ（とちおとめ）を用いた6種類の手作り商品を販売しています。人気NO.1の「がぁりっくちっぷ」は食感にこだわった独自の製法で作られており、人気の秘訣であるサクサク感がリピーターを増やし続けています。季節限定販売（2月～6月のみ）の「いちごコンポート」はレモン果汁で煮詰めることで、さっぱりとした味に仕上がっています。是非お召し上がりください。



代表の橋本さん

泉水耕農園 思いやりの丘 フクハウス

- いわき市泉町本谷字鹿野 32-20
- TEL&FAX.0246-88-9885

ギフトセット

●内容/「ガーリックオリーブオイル」・「にんにくみそ」・「がぁりっくちっぷ」・「にんにくしょうゆ」・「飲むいちご酢」

各商品、単品販売あり

※販売店舗はがぁりっくちっぷと同じ

がぁりっくちっぷ

●内容量/60g ●販売価格/500円(税込)

チャーハン、ラーメン等いろいろな料理の薬味としてもお使いいただけます。

販売店舗 フクハウス、ヨークベニマル、JA直売所、道の駅よつくら港

いちごコンポート

●内容量/200g ●販売価格/600円(税込)

パンケーキやヨーグルトのソース、牛乳に混ぜて苺ミルクなどでお召し上がりください。

販売店舗 フクハウス

「ふくしま地域産業6次化新商品カタログ」は「ふくしま6次化情報STATION(<http://6jika.com/>)」に掲載されていますので、是非ご覧下さい。

いわき農林事務所 新規採用職員からひとこと

平成30年4月に採用となった職員のうち、以下の5名がいわき農林事務所に配属となりました。今年度も新たなメンバーを迎え、職員一丸となって取り組んでまいります！

農業振興普及部 穴澤 拓哉

初めてのいわきですが、過ごしやすくてとても驚いています。趣味は旅行、愛車でドライブです。まだ仕事を覚えるので精一杯な毎日ですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

農村整備部 相馬 悠人

初めてのいわきですが、食べ物がたくさんあり、遊べる場所もあり、自然もあり、気候も良く、非常に過ごしやすいくところだと感じています。このいわきで、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします！

森林林業部

根本 康暉

高校までは中通りで過ごし、大学では日本海の荒波に揉まれていたため全く縁がなかったいわきですが、快適な環境で感動しています。一生懸命頑張るのでよろしくお願いします！



森林林業部

花田 真紀子

いわき市出身なので地元に戻ってこられてとても嬉しいです！今年の目標は肉體改造をして、中村アンさんのような健康的な Body を手に入れることです。宣言したので、どうか私を見かけたら筋トレしてるかい？と声をかけてください。よろしくお願いします。

農村整備部 古川 豊

未熟者なので、少しでも早く仕事を覚えて貢献できるようになりたいです。いわきに住むのは初めてですが、住みやすい所だと感じました。先輩方を見習って頑張りますので、よろしくお願いします。

編集後記

6月10日、「第69回全国植樹祭」がついに開催されます。そして前日9日には、「第47回全国林業後継者大会」がここいわき市で開催です！当ニュースで1年前から取り上げてきた一大イベントですので、今回は宣伝とさせていただきます。

平中央公園で全国林業後継者大会と同時開催の「いわきトマト Fes!!」にいわき農林事務所もブース出展し、大会を盛り上げます。大会にご参加の方も参加されない方も、「ふくしまのおいしさ」を味わっていただける内容となっていますので、是非お越しください。お待ちしております！（詳細は p.10）



◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース